

「企業経営と人権 ― 変化する内外情勢をふまえて ―」

講師：近畿大学人権問題研究所・主任教授 北口末広氏



(近畿大学人権問題研究所・主任教授 北口末広氏)

1956年大阪市生まれ

京都大学大学院修了(法学研究科修士課程)国際法専攻

現在、大阪府同和問題解決推進審議会委員

三重県四日市市同和行政推進審議会委員

(財) おおさか人材雇用開発人権センター副理事長

(財) アジア・太平洋人権情報センター評議員

(財) 大阪市教育振興公社理事

(社福) リベルタ理事長

ニューメディア人権機構理事

NPO 多民族共生人権教育センター理事 他多数兼任

協豊会東海地区は、2015年度計画の行事「レベル向上活動」のうち人権問題を主題にした講演を、平成28年1月25日(月)、刈谷産業振興センター 小ホールにて、講師に近畿大学教授の北口末広氏をお招きし、「企業経営と人権」をテーマに開催した。

講演会には、協豊会東海地区幹事をはじめ、東海地区のみならず関東・関西の会員会社をも含めた140社250名が参加し、最後まで熱心にお話しに聞き入った。

北口先生には昨年、企業にとって「人権」「差別」「ハラスメント」のそれぞれの基準について何が重要かをお話いただき、引き続いて今年度は、日本の企業経営に強い影響を与えている「人口変動」にどうやって対処し、また次代の産業を征する「科学技術(IT&AI)」をいかに進化させて、社会的課題を解決していくか、特に民間企業がCSRを絡めた公の発想をもってあたることの必要性をご講演いただいた。

また「人口変動」による労働力不足を、企業における人権問題を解消しつつ、あらゆる方面からのダイバーシティを取り入れた多様な雇用形態によって解決する意義について、さまざまな質問を聴講者に投げかけながら、懇切丁寧に解説され、最後に今日の企業に求められる人権CSRについて述べられて講演を締めくくられた。



(講演される北口氏)



(熱心に聴講する参加者)